

# Bonjour

ボンジュール!!

2015年  
1月15日号  
Vol.201



## 潜伏3年…、今年の新興国株式はいかに？

### ● 3年間の忸怩たる思い

高い成長性が魅力の新興国株式ですが、実は過去3年間、先進国株式を下回る株価パフォーマンスでした。

しかしながら、2015年はパフォーマンスの改善が期待できそうです。その理由を4つのキーワードで探りましょう。

### ● 4つのキーワード

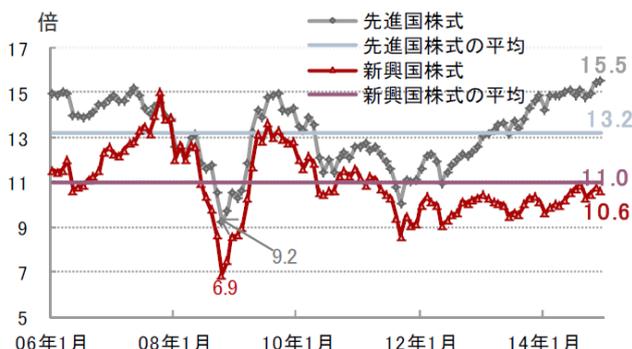
#### ① 割安

新興国株式は割安といえます。株価の割安割高の指標であるバリュエーション(投資価値評価)をみると株価収益率(PER)は10.6倍と、過去平均(11.0倍)を下回る水準にあり、先進国株式の15.5倍を下回る水準となっています。

※PERは2014年12月末時点の12ヵ月先予想利益ベース、過去平均のPERの期間は2006年1月末～2014年12月末

#### ■新興国株式と先進国株式の予想PER推移

(月次、期間:2006年1月末～2014年12月末)



出所:トムソン・ロイター・データストリームのデータを使用しピクテ投信投資顧問作成

●当資料はピクテ投信投資顧問株式会社が作成した資料であり、特定の商品の勧誘や売買の推奨等を目的としたものではなく、また特定の銘柄および市場の推奨やその価格動向を示唆するものでもありません。●運用による損益は、すべて投資者の皆さまに帰属します。●当資料に記載された過去の実績は、将来の成果等を示唆あるいは保証するものではありません。●当資料は信頼できると考えられる情報に基づき作成されていますが、その正確性、完全性、使用目的への適合性を保証するものではありません。●当資料中に示された情報等は、作成日現在のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。●投資信託は預金等ではなく元本および利回りの保証はありません。●投資信託は、預金や保険契約と異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の対象ではありません。●登録金融機関でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。●当資料に掲載されているいかなる情報も、法務、会計、税務、経営、投資その他に係る助言を構成するものではありません。

#### ② 企業業績も期待!

2015年の新興国企業の1株あたり利益成長率予想は前年比約プラス12%です。2014年推定の約プラス3%から大きく改善が見込まれています。また先進国の利益成長率を上回ることも予想されています。

※全てファクトセット集計アナリスト予想平均(2014年12月23日時点)

#### ③ 進む構造改革

世界経済の減速局面では、多数の新興国が、競争力の向上、海外からの直接投資の促進などを目標に構造改革に着手しています。中国、インド、韓国、メキシコなどにおける構造改革の進展への期待は、2015年を通じて投資家心理を改善させるものと考えます。

#### ④ 世界をお金が巡る

2014年10月末の日銀の追加金融緩和に続き、欧州中央銀行(ECB)も域内経済のテコ入れのため、資産購入プログラム実施など金融緩和が期待されているため、資金が新興国に向かうことが期待されます。

原油安や米国の利上げ等、気になることもありますが、多くの新興国経済および株式市場は、近年、経済状況や市場構造が改善されており、過去に比べると利上げ等に強くなっていると考えられます。今年こそ、浮上を期待したいですね。